

# 第三期環境基本計画の 一部改訂について

令和5年12月19日

環境・水循環課

## 改訂の背景

- 国県の2030年までの温室効果ガス（CO<sub>2</sub>等）削減目標の改定  
国（R3.4改定） 2013年度比 ▲26% ⇒ ▲46%  
県（R5.3改定） 2013年度比 ▲28% ⇒ ▲49%
- 市脱炭素ビジョンを策定（R5.3）し、2050年までにカーボンニュートラルを達成する取組方針や削減目標、プロジェクトを設定
- 一方、大野市第三期環境基本計画（R3.3）は、国県の旧計画水準



**国県の新計画との水準を合わせつつ、脱炭素ビジョンとの整合を図る必要がある**

< 第三期計画（改訂前） >

2050年カーボンニュートラルを  
視野に入れた**低炭素化**



< 第三期計画（改訂後（案）） >

2050年カーボンニュートラルを  
達成に向けた**脱炭素化**

# 改定方針

- ・ **計画の位置づけ**

⇒環境基本計画（地方公共団体実行計画（区域施策編））と脱炭素ビジョンの関係性を明記

- ・ **現状と課題の整理**

⇒脱炭素ビジョンで整理した新たな課題を追記する（併せて、数値などを時点修正する）

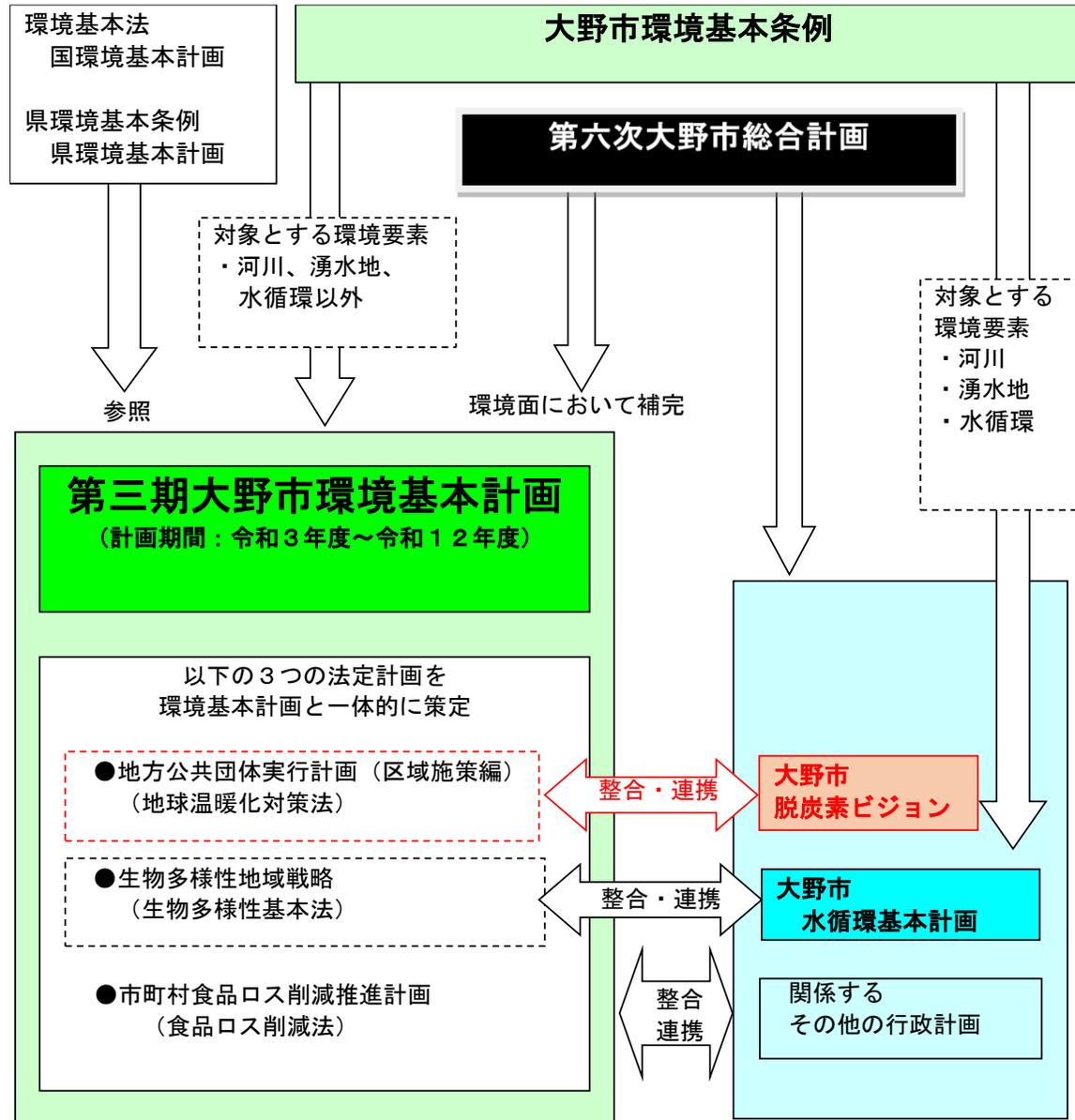
- ・ **取り組みの追加**

⇒脱炭素ビジョンに掲げる脱炭素プロジェクトのうち、第三期計画にない取り組みを新たに盛り込む

- ・ **目標の再設定**

⇒2050年カーボンニュートラル達成を目指す脱炭素シナリオに沿った数値目標に再設定する

# 計画の位置づけ



# 課題の整理（主なもの）

## 課題①

広大な森林を有していることから、カーボンニュートラルを達成するためには、この特徴を生かし、「森林吸収源対策」を推進する必要がある

## 課題②

産業部門・民生部門・運輸部門からのCO2排出量割合がほぼ同じという特徴があり、脱炭素の取り組みはあらゆる主体に関わることから、市民、地域、事業者、行政が主体的に、且つ、お互いに連携するなど部門を超え総合的に取り組む必要がある

## 課題③

エネルギー収支は約29億円の赤字であることから、エネルギーと経済の域内循環を目指すためには、再生可能エネルギーを新たに導入し、市内で使う「再エネの地産地消」を進める必要がある

# 新たに盛り込む取り組み

## ◆重点施策として「森林吸収源対策の推進」を追加

- ・間伐、主伐・再造林を進め、「伐って、使って、植えて、育てる」木質資源の循環利用を推進
- ・民間や公共建築物の木造化・木質化、公共事業等での木材利用を促進
- ・林業事業者への支援を通じて、新しい担い手の確保や人材育成を推進
- ・森林や木に触れる体験活動など、森林環境教育や木育イベントを推進

## ◆脱炭素推進会議など関係者との連携

- ・市民や地域、事業者、金融機関、大学、専門機関など市内のステークホルダー（利害関係者）と連携し、部門を超えた総合的な脱炭素の取り組みを推進
- ・脱炭素型社会の実現に向けた仲間づくりとネットワーク化を推進

## ◆再エネの地産地消の推進

- ・電力事業者と連携し、市内卒F I T電力の利活用やオフサイト型 P P A など再エネの地産地消スキームを検討
- ・県内有数の発電ポテンシャルを生かし、小水力発電設備の導入を促進、発電した電力の市内利活用を検討
- ・もみ殻等に利用バイオマスの利活用検討

## その他の追記・修正

- ・低炭素 ⇒ 脱炭素
- ・卒F I Tの利活用
- ・充電設備設置の推進
- ・脱炭素型ライフスタイルの定着
- ・断熱リフォームの推進
- ・エコドライブの推進
- ・結のEco協賛店との連携
- ・省エネ診断の受診支援
- ・蓄電池の普及
- など

# 数値目標の再設定

<改定前>				<改定後>		
①大野市内の温室効果ガス排出量（CO2換算）				①大野市内の温室効果ガス <b>実質</b> 排出量（CO2換算）		
基準値（H29年度）	中間目標（R7年度）	最終目標値（R12年度）	⇒	基準値（R2年度）	中間目標（R7年度）	最終目標値（R12年度）
3 2 1 千t-CO2	2 7 4 千 t - CO2	2 3 1 千 t - CO2		7 1 千 t - CO <sub>2</sub>	4 9 千 t - CO <sub>2</sub>	2 5 千 t - CO <sub>2</sub>
②大野市の事務事業におけるエネルギー使用量（原油換算）				②大野市の事務事業におけるエネルギー使用量（原油換算）		
基準値（R元年度）	中間目標（R7年度）	最終目標値（R12年度）	⇒	基準値（R元年度）	中間目標（R7年度）	最終目標値（R12年度）
4, 5 5 4 kℓ	4, 4 4 1 kℓ	4, 3 2 6 kℓ		4, 5 5 4 kℓ	3, 8 7 1 kℓ	2, 7 8 0 kℓ
③ゼロカーボン施設の数（公共施設）				③ゼロカーボン施設の数（公共施設）		
基準値（R元年度）	中間目標（R7年度）	最終目標値（R12年度）	⇒	基準値（R元年度）	中間目標（R7年度）	最終目標値（R12年度）
0 施設	3 施設	5 施設		0 施設	3 施設	5 施設
<改定前>				<改定後>		
①木質バイオマス発電に活用した間伐材の量（補助数）				①木質バイオマス発電に活用した間伐材の量（補助数）		
基準値（R元年度）	中間目標（R7年度）	最終目標値（R12年度）	⇒	基準値（R元年度）	中間目標（R7年度）	最終目標値（R12年度）
7, 5 9 5 m <sup>3</sup>	7, 9 7 5 m <sup>3</sup>	8, 3 5 5 m <sup>3</sup>		7, 5 9 5 m <sup>3</sup>	7, 9 7 5 m <sup>3</sup>	8, 3 5 5 m <sup>3</sup>
新規追加				②再生可能エネルギーの導入量（新規）		
			⇒	基準値（R元年度）	中間目標（R7年度）	最終目標値（R12年度）
				—	1. 7 千 k W	3. 4 千 k W

# 今後のスケジュール

- 1 2月19日 第1回 環境保全対策審議会
  - ・第三期環境基本計画の改訂素案について
- 2月－3月 パブリックコメント
  - ・第三期環境基本計画の改訂案
- 3月中旬 第2回 環境保全対策審議会
  - ・パブリックコメントの結果について
  - ・第三期環境基本計画の改訂最終案について  
(・R4年度大野市環境年次報告書について)
- 3月下旬 第三期環境基本計画の改訂